

お祝いを寿米の先生の先生を薰



鳩山薰先生の
米寿を祝う会 とき：昭和50年11月21日（金）午後2時～4時
ところ：椿山荘「富士の間」

東京都文京区関口2-10-8
TEL (943) 1111
交通：地下鉄有楽町線
江戸川橋下車徒歩10分
国電山手線 白駒駅
らタクシー10分

切磋琢磨してきた者たちの世界を裏に、敢て歩んでもなく、全治の苦難の中に打ち勝つ力を持ち併ね、不淨な風潮を攻撃せば、己の人生を操り行くものである。批評的批評とも致し方なし。これが新的な時代に向って行こうとする苦難の打開道を作り出す姿勢持平は、前途は闇がれると思ふ。歓喜を迎えるより万物想うのである。(續讀)

天気のよい日は バイクに乗ろう。

ヤマハでは、いま、新しい生活のあり方を考えて、自然と親しむ健康な暮らし、便利で余裕のある暮らし、人々とのふれあいを取りもどすくらし……などの手伝いをするため、「ノイバクのある生活」を提案しています。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

友
弟

発行所
友愛青年連盟
東京都文京区音羽1-7-1
電話 東京(941)2801
発行人 永田清成
編集人 田中恭一
定価 1部 35円

、われらは、各自の心紙にあらねば、受相互通の美徳を重んずる。金利窮則女貞、われらは、爲めに、民衆主義を排斥する日本国民として、公平正義を確立する。われらは、科学技術の振興と共に、福徳の国家建設は、かくして文化的、政治的、われらは、全民族が共通の使命を負う。がいがいのものと、世界界の發展をもとに寄する。

O B会は米寿 祝賀会と併催

例年十一月三日（文化の日）に開催しているO B会は、鳩山薰先生の米寿を祝う会と併催いたしますのでご了承下さい。当日は、O B各位が多数出席されますので意義ある会合になると思われます。各々多数のご参会をお願い致します。

直言

◆神無月を終え、立
冬を迎へ朝夕めつき

主張

“友愛コミュニケーション活動”の中味を確立しよう

本月の十六日には全国中央委員会が開催される。この中央委員会では例年、上期の運動の評価と反省に立って下期（来年三月まで）の方針

五月の全国大会のマーンマーとして全国統一運動・反愛コムニティ活動を掲げた。しかし現在まで「コムニティ活動」の主張説明の段階に止まることは推進するための具体的な中味・方法についてほとんど打ち出されて

全会員の総意を結集して
"友愛コムニティー活動"
らしい。

”の具体化について

がなされるなど、全般的に取り組みの姿勢が高まりつつあることは心強いことである。しかし、今後もなお一層の組織討議を重ねて行くべき

総意を結集することを切望する。

活躍な討議を行ない全会員の総意の結集を待する。

「活動」の中味を確立しよう ——中央委員会（三七回）を契機に——

1

ひとを強調したい
そのための方法

としてます第一に、「地域社会」

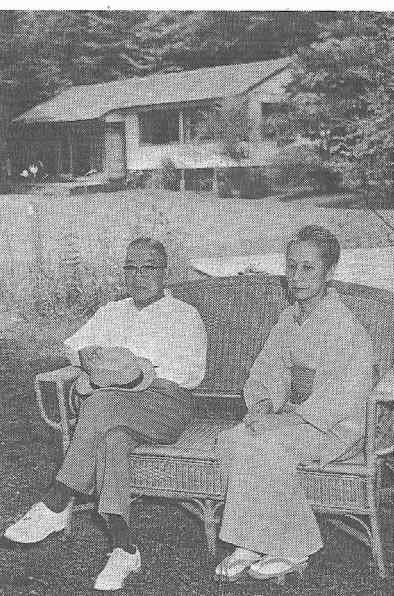
らない。それに各階級の具体案を作成するのも要求されるが、それよりも組織で討議されたいろいろな意見をどうのうちに收拾し、そしてそれがどのようにまとめて行くかという重要な



(第12回金回大会で)

寿考祭された鳩山先生のことと、
とべんをいたが、私の思ひはやめ
先生にござりてしまふ。それはの文を
きた友彌博士の意ではないかも
私は自分の文章をさからつて筆をと
にはいかない。
先生が「友彌博士が死んだが
やつしやつしたがって、私の恩師
は先生にござると思うてゐる。
しかし、よく考えてみると、十余年前
友彌博士の中で、鳩山一郎先生の創
の役割と、その継承者としての童貞
とべんをいたが、私の思ひはやめ
先生にござりてしまふ。それはの文を
きた友彌博士の意ではないかも
私は自分の文章をさからつて筆をと
にはいかない。
先生が「友彌博士が死んだが
やつしやつしたがって、私の恩師
は先生にござると思うてゐる。
しかし、よく考えてみると、十余年前
友彌博士の中で、鳩山一郎先生の創

鳩山薰先生と友愛



(昭和30年、軽井沢で一郎先生と)

对外經濟協力大系

鹿島平和研究所編
今本卷10卷／別

- | | | | |
|---|-------------|--------------------------|----------------------|
| 1 | クーデンホーフ・リード | カレルギー全集
全9巻完結！ | A5判各一〇〇〇円 |
| 2 | ヨーロッパの統合 | 鹿島守之助訳
ヨーロッパ国民の使命 | 鹿島守之助訳
ヨーロッパの統合 |
| 3 | 実践的理想主義 | 鹿島守之助訳
倫理と人生 | 鹿島守之助訳
物質主義からの離脱 |
| 4 | 技術による革命 | 鹿島守之助訳
ヨーロッパの三つの魂 | 鹿島守之助訳
ヨーロッパの三つの魂 |
| 5 | ソバ・ゼントルマン | 鹿島守之助訳
自由と人生 | 鹿島守之助訳
ヨーロッパの三つの魂 |
| 6 | 平和への道 | 鹿島守之助・深津栄一訳
世界の愛の世界革命 | 鹿島守之助訳
ヨーロッパの三つの魂 |
| 7 | 想 錄 | 鹿島守之助訳
第一回鹿島平和賞受賞記録 | 鹿島守之助訳
ヨーロッパの三つの魂 |
| 8 | 鹿島平和研究所編 | 鹿島守之助訳
世界的勢力としてのヨーロッパ | 鹿島守之助訳
ヨーロッパの三つの魂 |
| 9 | 鹿島守之助訳 | 鹿島守之助訳
ヨーロッパの三つの魂 | 鹿島守之助訳
ヨーロッパの三つの魂 |

